

放射能と化学物質の 次世代への影響

東日本大震災による福島第一原発事故は、水素爆発、メルトダウンを起こし大量の放射性物質を大気、土壌、河川、海洋に放出しました。地域住民の被ばくはいかばかりか、まだその広がりさえわかりません。

綿貫礼子さんは、吉田由布子さんとともにキエフでの「国際学会議2011」に出席され、25年間の「チェルノブイリ」の体験から判った、新しい医学上の知見を含めて報告されます。当然ながら「フクシマ」の現状に照らして問題の所在を提起されます。

また今回の震災では放射能以外にも、ヘドロや廃材の処理作業でも多種多量の化学物質が放出されています。また埋設農薬や、感染症防止のための殺虫剤・消毒剤の使用、仮設住宅などのシックハウス問題など、さまざまな場面で化学物質汚染が起こる可能性が出ています。日本を代表する毒性学の権威で前国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長の井上達さんに、市民のための毒性学についてお話をいただきます。ぜひご参加ください。

講演1 『チェルノブイリ』と『フクシマ』

—放射能汚染が未来の世代に及ぼす影響を考える—

綿貫礼子氏 (サイエンスライター)

吉田由布子氏 (「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク事務局長)

講演2 私たちの暮らしとトキシコロジー

—環境ホルモン問題、低用量問題に学ぶ—

井上達氏 (日本大学医学部客員教授、前・国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長)

日時:2011年7月23日(土)

午後13:30~16:35

会場:エコギャラリー新宿

新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内

TEL03-3348-6277

新宿西口より約15分

大江戸線「都庁前」駅A5番出口より徒歩5分

丸の内線「西新宿」駅2番出口より徒歩10分

資料代:1000円

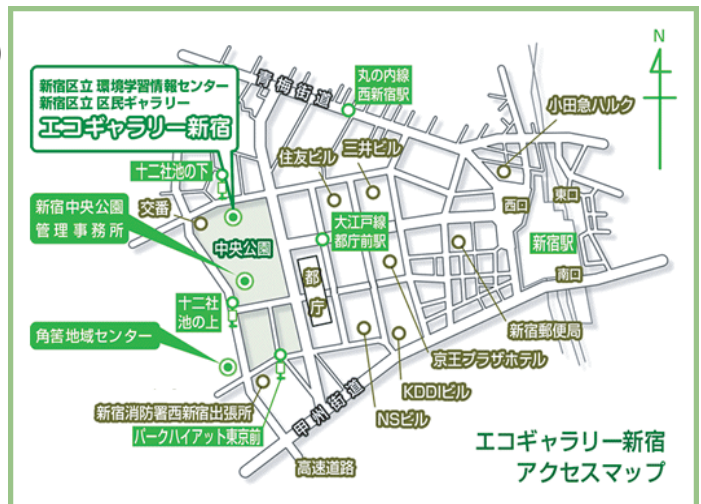
申込みは不要ですが、参加人数把握のため、

ご参加希望の方は下記申込書で

ファクス(03-5368-2736)か

メール(kokumin-kaigi.syd.odn.ne.jp)でご連絡下さい。

11:30~12:30に国民会議年次総会を行います(総会ご希望の方はどなたでも傍聴可能です)



参加申し込み書(Fax.03-5368-2736)

お名前

TEL

ファクスかメールアドレス

主催:NPO法人 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21 戸田ビル4階 Tel.03-5368-2735 Fax.03-5368-2736

Homepage: www.kokumin-kaigi.org Email: kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp